

## 平成14年度全国女性委員会会議報告

○期日 平成14年7月13日～14日

○場所 1日目：国立霞ヶ丘競技場会議室 2日目：日本青年館

○参加者 福嶋綾子

※H14年度この会議において、長崎県女性委員会設立についての全国発表を行った。発表内容は以下のとおり。なお、本資料は、日本陸連から出されたH14全国女性委員会会議報告書によるものである。

テーマ「女子部設立の経緯」 長崎陸上競技協会 福嶋綾子

女子部は強化部にまだまだ負担をかけて運営をしているが、今はとにかく「やるしかない」という気持ちでスタッフ皆がんばっている。

陸上競技愛好者を増やすこと、長崎県陸上競技協会へ貢献すること、女性指導者間の連携を図ることを目的とし、いずれは、14の郡市陸上競技協会に設けていくことが目標となっている。来年長崎インターハイが開催されるので、追い風となっている。

5月25日に女子部の発足式があり、それが新聞に掲載され、それ以降多くの人に女子部が意識されるようになった。

### 【会議報告】

#### 1日目

◎陸連総務委員長より挨拶

「女性にできないことはない！！」熊本県の女性審判の活躍にもあるように、力をどの県も発揮してほしい。今後女性のスポーツ界における地位の向上をめざしていかなければならない。JOCでは、6月に女性スポーツプロジェクトを創設。その内容は女性監督の起用、女性がスポーツを続けやすい環境づくりを考える。

◎山崎寿美子女性委員長挨拶

「21世紀は女性の時代！」女性役員がどのようにこれから取り組んでいかなければならないのか、今回の会議できっかけをつくってほしい。

- ・女性委員会の目的・活動・組織構成の説明
- ・3000mSCの講習会、記録会について案内
- ・レディース陸上、今年は80%審判員女性にすることが目標
- ・棒高跳び、ハンマー、競歩などの新種目における講習会、記録会についての説明
- ・女性委員会ホームページについて目的、内容を原悦子副委員長より報告

◎講義：「21世紀構想における女性の役割」（日本陸連理事：佐々木秀幸氏）

◎都道府県陸上競技活動報告

高知県強化部長：西内久美子「強化部長に就任して」

高知国体に向けて、女性部では国体強化合宿を女子のみで行う「はちきんパワー」を実施週末記録会も行っている。女性だからといって甘えることはいっさいしていない。

熊本県；大和田智子「熊本レディース陸上を開催して」

日本選手権、インターハイ、国体を経験した女性審判員が「女性だけで大会を開けないか」と声をあげたのがきっかけで、平成14年から競技会の中に組み込んでもらえるようはたらきかけ、2回開催した。きょう競技会ごとにアンケート。いろいろ試行錯誤を重ね運営をしている。予算の面が課題。影での男性の支えがあった。